

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	山口県	事業実施主体	岩国市	地域再生計画名	「錦帯橋と共に住み続けたいまちいわくに」再生計画
計画期間	令和２年～令和７年	評価責任者	岩国市建設部長 長谷 倫孝		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績						
	目標 1	人口減少の抑制	134, 197 人	H30	128, 220 人	R 4	127, 543 人	125, 000 人	R 7	121, 633 人	△	指標 総数	達成 数	
	目標 2	交付金対象地域における汚水処理 人口普及率の向上	77. 6%	H30	81. 1%	R 4	83. 4%	84. 8%	R 7	77. 5%	△			
目標 3	錦帯橋入橋者の数の増加	583, 992 人	H30	614, 000 人	R 4	443, 186 人	626, 000 人	R 7	569, 247 人	△	3	0		
②事業の実施状況に関する客 観的な指標（KPI）の実現状 況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況		
	指標 1	汚水処理施設の整備の促進交付金 対象地域における汚水処理人口普 及率7. 2%の向上	77. 6%	H30	81. 1%	R 4	83. 4%	84. 8%	R 7	77. 5%				-
	指標 2										-			
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (R4)	最終実績									
	地域再生計画に記載があ る特別の措置を適用して 行う事業	公共下水道（岩国一丁目）	3, 663m 真空ステー ション一 式	2, 272m	3, 663m 真空ステー ション一 式	対象箇所の岩国一丁目地区は全て公共下水道処理区域内に移行し、今後は観光を中心とする産業振興を図るために民間投資促進に期待する。								
		個人設置型浄化槽	928基	456基	788基	当初計画に対する達成率は85%に留まっています。特に、新設・転換の補助申請件数が年々減少しており、その背景には人口減少と物価高騰による新築住宅建設の減少に加え、既存の単 独浄化槽利用家庭において、生活上の必要性や工事費用の負担が申請意欲を阻害する要因となっていることが考えられる。								
		市町村設置型浄化槽	30基	10基	10基	新築需要が低下しているため、目標値を下回った。今後は、目標値の見直しを含め浄化槽の設置を推進していく。								
	その他の事業	公共下水道整備事業	下水道未普及対策事業			国土交通省所管の「社会資本整備総合交付金事業」及び防衛省所管の「岩国飛行場周辺汚水除去施設設置事業」を活用し未普及地区の整備を効率的に行っていく。								
		水洗便所改造資金融資あっせん及び 利子補給事業	融資あっせん及び利子補給			くみ取り便所を水洗便所へ改造する際や、浄化槽を撤去して下水道へ接続する際に必要となる資金について、融資のあっせんを行うとともに、融資を実施する金融機関に対して利子の一部 を補強するものです。今後も本制度を通じて経済的な負担の軽減を図り、より衛生的で快適な生活環境の整備を進めていく。								
		街なみ環境整備事業	道路美装化、街路灯設置、修景補助 等			城下町地区において、道路美装化・修景事業等を実施した。今後も歴史・風土の調和した良好な街なみ環境整備を図っていく。								
		駐車場整備事業	実施設計、請負工事発注			造成と急傾斜安全対策を実施した。供用開始に向けて今後も駐車場整備を進める。								
		錦帯橋資料館整備事業（仮）	錦帯橋や岩国城下町のビクターセン ターの整備			R2～4年度に基本計画策定した。令和5年度から事業休止中。								
		錦帯橋世界遺産推進事業	錦帯橋の世界文化遺産登録に向けた 取組の推進			世界遺産暫定一覧表記載資産が少なくなる中、世界遺産登録推薦書及び事前評価申請書の素案の作成を進めている。								
	計画外で独自に実施した 事業													
	④評価方法	関係部署による評価会議を開催後、学識経験者の意見を求め、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。												
⑤事後評価の公表方法	岩国市下水道のホームページに記載													
⑥計画全体の総合評価	当初の想定を上回る若年層の流出と少子・高齢化の加速化により、人口減少が予測を大きく上回った。この人口減少に伴い浄化槽設置の進捗が伸び悩み、目標達成には至らなかった。一方、下水道整備事業は計画通り完了し、岩国一丁目地区は全て下 水道処理区域となり、歴史的な街なみ・景観の保全に貢献することができた。錦帯橋の入橋者数については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、一時的に大幅な減少を見せたものの、徐々に回復傾向にある。													
⑦今後の方針等	社会背景を考慮すると、当初掲げた目標の達成は困難であったが、岩国一丁目の下水道整備は、重要文化的景観エリアにおける事業完了により、住環境改善、景観重要建造物の保存、そして生活生業創出型店舗の開業可能性といった波及効果が期待さ れる。今後は、地域経済の活性化と生活の質の向上を新たな視点に取り入れ、より多角的な視点から事業推進を図る。 また、浄化槽設置補助事業については、汲取り便槽及び、単独処理浄化槽から合併浄化槽への転換に引き続き支援を行う。													